



きんじょう・かおる 85
年、関西沖縄文庫を設立。
沖縄関連の図書や資料を収
蔵するほか、沖縄戦体験者
からの聞き取りも続ける。

「正しい」と考えて
やったことが、当事者を
傷つけることもある。高
校で抱いた悔悟の念
は、20歳を過ぎて向き合
うようになった基地問題
にも通じてゆく。

在日米軍基地の割合は、
72年の復帰時より増えて
いる。「自分たちの地域
から基地をなくすという
『正しい』主張を貫きた
め、沖縄の犠牲には黙っ
ている」ように映る。
オスプレイの飛行訓練
は、10月の沖縄配備の後
になる。約150機の低
高度を飛ぶ可能性もあ
り、各地で抗議が見込ま
れる。だが、仮にルート
が変更されたら、その声
は続くだろうか。金城さ
んは言う。「沖縄と連帯
する。基地をなくす。そ
れら主張は全部『正しい』
。ならば(本土が)
沖縄から引き取ったうえ
で基地をなくすが筋で
はないのか」

「正しい」主張に疑問

米軍垂直離着陸輸送機
MV22オスプレイの沖縄
配備には、沖縄だけでな
く全国各地の首長からも
安全性への疑念の声が上
がる。全国7ルートでの
低空飛行訓練が予想され
るためだ。だが、沖縄文
化を発信する「関西沖縄
文庫」(大阪市大正区)
を主宰する金城馨さん
(59)は、首長の反応を
冷やかに見る。「目の
前の危険を排除しようと
する『正しい』主張だが、
基地を押しつけられてい

る沖縄と痛みを共有する
ことはないだろう」
正しさをとられること
にはいつも疑いの目を向
けてきた。きっかけは、
兵庫県内の高校に通って
いた10代の出来事だ。在

「関西沖縄文庫」主宰 金城馨さん

「正しい」と考えて
やったことが、当事者を
傷つけることもある。高
校で抱いた悔悟の念
は、20歳を過ぎて向き合
うようになった基地問題
にも通じてゆく。

うに苦しまないのか」。
主催者にたたと、依頼
は途絶えた。
本土の平和運動にも首
をかしげた。「全ての基
地をなくす」と訴えなが
ら、全国に占める沖縄の

【平川哲也、写真も】

大阪にある沖縄
2012 7月11日
論説委員室から

大阪市大正区は、佳民の4分の1
を占める約1万7千人が沖縄出身者
と見られる。5・15には「復帰」の本質
を考える集いを開いた。題して「1
人の街」と呼ばれる。
今年は大正区の区制80周年と沖縄
の祖国復帰40周年が重なり、「沖縄
三大綱引き」の一つで400年の伝
統をもつ与那原大綱曳を招致する。
この大正区で、沖縄の歴史や文化
を若い世代に伝えようと地道に活動
してきたのが、1985年になって
私設図書館「関西沖縄文庫」だ。
主宰するのは沖縄で生まれ、関西
関係を築けるのか。その問いへの
答えを求め、同文庫は今年、沖縄映
画祭などを開く。金城さんの問題提
起に「問われているのは私だけだ」
と改めて思う。
【大塚勉】

大塚はどっちだ？

大塚 立裕

沖縄からヤマトへのメッセージを書けという注
文である。私がどういう注文を受けるのは、何度
目だろう。そのつと律義に応じてきたが、それで
何がどれだけ変わったのだろう。いま、「ブルーパス、
お前もか」と言いたい思いを禁じがたい。
こんどのメッセージのかずかずを、「普天間」の
観劇の機会に読んだヤマトの観客の眩きを想像す
る。きつと、「ふん、なるほどね、沖縄も大変だな」
と呟くだけで終わるに違いないのだ。私はときに
マスコミに取材をうけ、「どうしたらよいですか」
と訊いてくるから、「それはこっちが聞きたいこと
です」と答えている。演劇も映画もマスコミも、「沖
縄は大変」と言うだけ。なんと、限りのない、
無意味なセレモニー

大変はヤマトが自覚すべきことではないか。
サンフランシスコ平和条約を起点として、沖縄
をアメリカのわがままな占領体制にゆだね、治外
法権や法外な土地接収などの犠牲を負わせて、そ
の上で本土だけが「独立」し、軍事費を助かって「高
度成長」を勝ち得たことを、なぜ沖縄に詫言ない
のか。「すみませんでした。どう償えばよいのでしょ
うか」と訴えるべきではないのか。普天間基地を
いつ、どの県でひきうつせるか、政府とともにそち
ちで考えて、それまでどうか我慢して、と頭をさ
げて訴えるべきではないか。それなのに、いつま
でも沖縄が訴える側にはまわされるのは、筋違いで
はないか。

以上が、私のヤマトへのメッセージである。
(おちしゅうたつひろ・作家)